

グループワーク全体発表

◇グループワーク① サービス担当者会議開催準備

現状の問題点と対策について

- ・本人、家族は改善すると思っており、本人と妻は現状で良い、子ども達は施設が良いという意味のずれがある。対策として、本人家族を交えたカンファレンスの開催。(県内であれば集まって、県外であればオンラインで)
- ・要介護度が上がっているので福祉用具の変更が必要。
- ・病気に対する情報共有が大前提。現状の病態理解、今後どう進んでいくかを理解してもらう必要。
- ・栄養状態が悪くなることが予想され、口腔ケアや嚥下訓練も必要。食形態や補助食品の検討。
- ・介護量が増えるため、本人や妻への身体面や精神面でのフォロー。
- ・介護プランの変更。訪問リハビリの導入。同時進行で日中の過ごし方の確認。
- ・本人の体の状態からどのような支援ができるか。
- ・本人の思いを尊重するためには、妻の負担を軽減することが大切。妻にもサービス導入、民生委員など地域の力を借りる。本人と妻、2人の関係性を特に重視しながら支援する。
- ・家族4人の思いを聞き、支援の方向性を決める。
- ・急変時の対応、現在のサービスを見直す。訪問看護が土日や夜間も対応可であれば、メンタル面の負担軽減になる。デイケアで入浴できればデイサービス利用を減らしても良いのでは。
- ・薬剤師に服薬管理を。
- ・本人の家庭内での役割を決める。話をしたり出来ることをやってもらうなど。
- ・受診中の医療機関が複数あるなら、まとめていくことで連携が図れるのではないかな。
- ・会議の前に、介護職のみで話し合い、事前準備しておくことも効果的ではないかな。
- ・今後の見通しをはっきり提示すると、家族、多職種も分かり易い。
- ・週4回の通所系サービスは本人には負担なのでは？本人の気持ちをもう少し深掘りしてはどうか。

◇グループワーク② 将来、事故や病気などで身の回りの事(食べることも含め)ができなくなり、自分の考えを伝えられなくなった時の希望

自分の場合

- ・呼吸器や胃ろうなどの延命治療はいらない。
- ・子どもの意見を大事にしたい。子ども、兄弟、親を含めた話し合いをしたい。
- ・寝たきりになり家族に負担を掛けたくないなので病院か施設に入りたい。
- ・延命はどのようなことを指すのか難しい。広い意味では透析や点滴も含まれるのかな？
- ・家族が後悔しないように標準治療をしてもらうのも選択肢のひとつかな。

あなたの家族の場合

- ・死を受け止められるまでの期間は命を繋いでいてほしい。
- ・親は子どもに任せると言っている。出来るだけ家で見てあげたい。
- ・元気なうちに本人の気持ちを聞いておく。
- ・急変時の体制は確保しておきたい。病院や対応してくれるサービスなど。
- ・実体験として、元気なときは胃ろうやCVポートはしないと言っていたが、実際その時になると本人の選択肢が変わり、生きたいという希望が出てきた。本人と家族で話し合いを続けること、その時々で気持ちの変化が起こるので選択肢は変わる。話し合いを継続することが大事。
- ・家で見てあげたいと思うが、自分の生活もある、本人も家族のことを思うと病院で、、、となるのではないか。
- ・年に一度は話し合う機会を設けたい。